

W Wirtgen



常温切削機 2100DC

経済的な道路舗装の切削

多くの長所を持つ切削機

設計コンセプト

2100DCは、高品質で高性能な常温切削機です。独立駆動式の4つの大型クローラーを装着し、4輪ステアリング方式が採用されたこの機械は、すでに様々な状況下で、その高い機動性とパワフルな作業能力が実証されています。

この機械の心臓部である切削ドラムは機械の中心に位置し、パワーベルトによる機械駆動式です。また、機械の中央で左右両側にそれぞれ設置されたオペレーター・スタンドは、オペレーターが常に作業現場を見渡すことが出来るよう配慮されています。



前方積み込み方式で切削作業を行います。切削された材料は粒状化され、2段階構成のコンベア・システムによって、直接トラックへ積み込まれます。



積み込みベルト・コンベアの長さゆとりがあるため、大型セミトレーラーのような広い荷台全体にも万遍なく切削された骨材（RAP）を積み込むことが出来ます。

切削された材料の積み込みは簡単です

このクラスのウィルトゲン社製の他の機械と同様、2100DCにも幅広のフロント・コンベアが装備されています。このコンベアは左右両側に旋回するため、カーブや交差点の切削のような難しい状況においてさえ、手際良くトラックへ切削された材料を積み込むことができます。

切削能力が高いため、切削された材料の運搬量は必然的に多くなります。従って、このコンベアは、ロング・バット型のセミトレーラーへの積み込みも難なくできるよう設計されています。このように、作業は経済的に遂行されます。



全アスファルト層が、300mmの深さで、しかもシングル・パスの作業で切削されます。

高い切削能力

2100DCの高い切削能力は、定格出力610馬力の高出力エンジンと高い効率の動力伝達機構によって生れます。

2100DCは特に広範囲に及ぶアスファルトまたはコンクリート表面の切削に適していると言えるでしょう。さらに、厚さ300mmまでのアスファルト層は、シングル・パスで切削が可能のため、現場における作業時間を大巾に短縮することができます。

高い切削能力に見合った前方積み込み シンプルで便利な取扱い



左右両サイドのフラッシュ・カット。例えば縁石等、障害物があっても容易に切削を行います。



縁までギリギリに舗装を切削できるため、時間と費用が節約されます。

左右両サイドのフラッシュ・カット

オペレーター・ステーションへの昇降梯は取り外しが可能であるため、陸橋の台脚や壁、それらに類似する障害物にびったりと機械を近づけることができます。さらに、切削ドラムも特別なエッジ・ツールの配列で構成されているため、切削縁はシャープでクリーンに仕上がります。

優れた操縦性

集中した正確な作業を行うためには、快適に機械を操縦できることが必要条件でもあります。オペレーター・ステーションは、人間工学を考慮し、制御装置類にも容易に手が届くように設計されています。独立して防音装置を備えたエンジン・ルームは快適な作業状況を提供し、オペレーターや工事現場付近の環境を過度の騒音から保護します。



この切削機は電子制御式レベルコントロール・システムを装備しています。このシステムは、機械の左右両サイドに取付けられており、正確に保持され、数レーンの切削をする場合でも、水平でクリーンな切削面を作り出します。



左右両側に整然と配置されたコントロール・パネルを持つオペレーター・スタンドが設置されているため、作業現場のどのような状況下でも、オペレーターは容易に制御装置類に手をのぼすことが出来ます。

シャープでクリーンな切削縁仕上げで広い作業面積を こなすことができる生産性の高さが特徴です



取り付けられたセンサーによって、または、左右いずれかのセンサーと機械本体に組込むことができるスロープ・センサーによって作動します。設定された切削深さは自動的に、



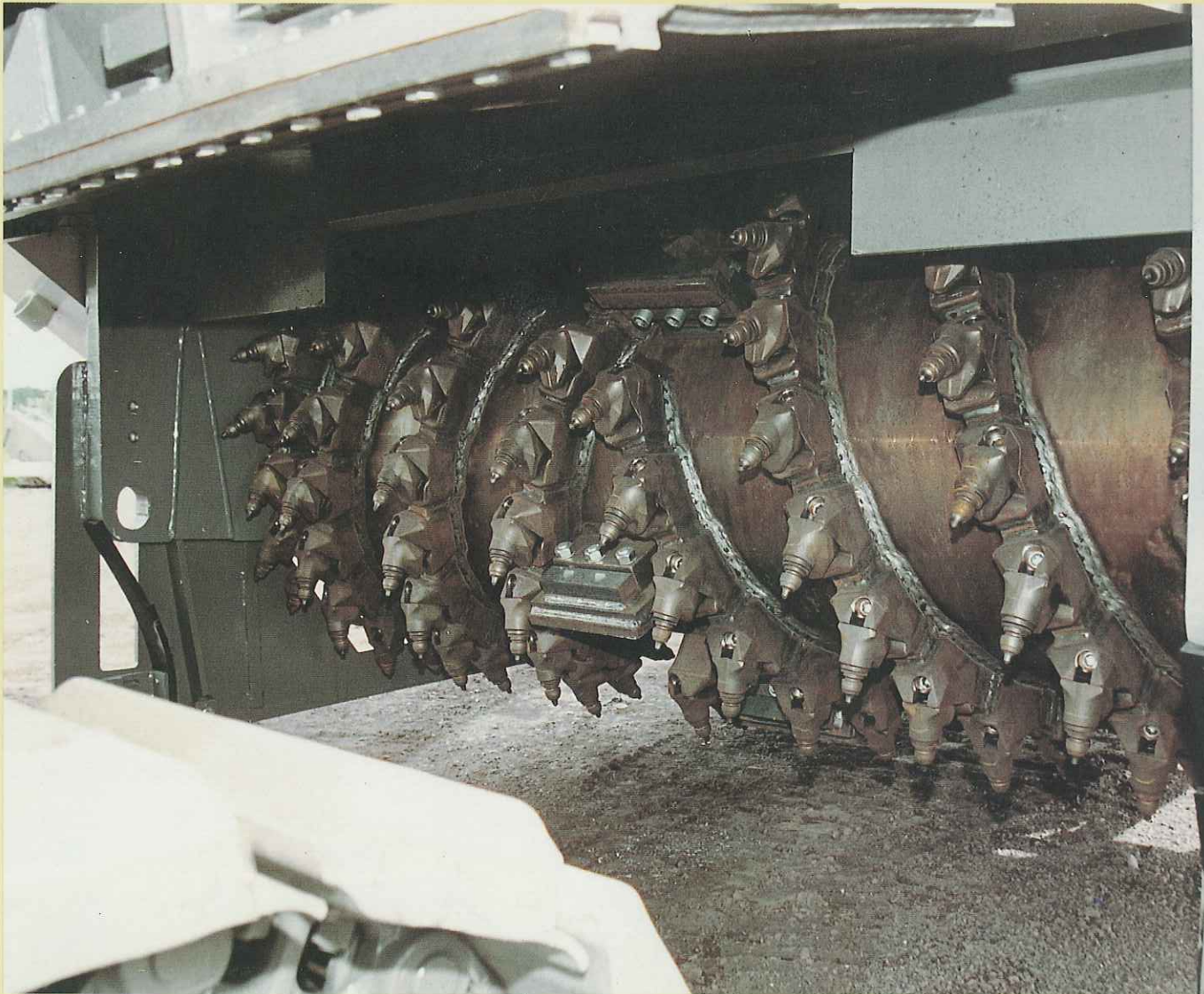
2100DCの優れた機動力と操作性は、4輪ステアリング方式によって実現されています。

優れた機動性

蟹走行（蟹のように横方向の走行）を可能にする4輪ステアリング方式を持つ2100DCは機動力に優れ、2車線幅の狭い場所でもターンすることができます。

このような特徴を持つ強力な切削機2100DCは、高速道路や飛行場などの切削作業を経済的にこなすだけでなく、例えば比較的狭く、曲がりくねった道の修復作業でも同様の威力を発揮します。

強力な切削ドラム駆動



写真は、特許取得済みのヴィルトゲン・クイックチェンジ・ツールホルダー・システムを備えた切削ドラムです。このシステムは、耐久性が強く、切削ビットを作業現場で、溶接作業を必要とせず素早く交換できるという経済的な利点を備えています。

切削ドラム駆動

機械駆動方式の切削ドラムは、シンプルな設計と効率の良さを誇っています。エンジン・パワーはクラッチとパワー・ベルトによって直接、切削ドラムのギアボックスへ伝達されます。手動でパワーベルトに新たに張力をかける必要はありません。この作業は、自動油圧シリンダーによって常時行われます。

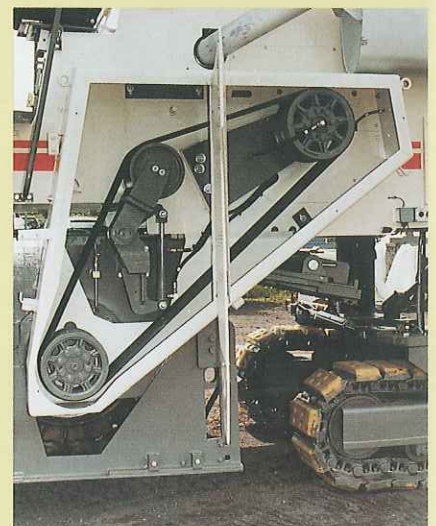
切削ドラム

2100DCには様々な切削ドラムのバージョンが用意されています。標準の切削ドラムは、ツールホルダーが溶接された設計です。特

許取得済みのクイックチェンジ・ツールホルダー・システムはオプションで取付けることができます。このシステムでは、破損したツールホルダーを作業現場で、特殊工具を使わずに、数分で交換することができます。

標準切削ドラムは15mmの間隔で、ファイン切削ドラムでは8mmの間隔で設計されます。

また、油圧制御で持ち上がり、自動的にロックされるスクレーパー・ブレードのおかげで、ドラムへは安全に、そして容易にアクセスすることができます。これによって、切削ビット類の交換も簡単に素早くできます。



自動ベルト・テンショナー付きのダイレクト機械駆動方式。

簡単なメンテナンス

サービスが必要な箇所は容易にアクセスすることができ、大型のカバーが取付けられているため、アクセスがより簡単で、安全でスピーディな作業が行えます。例えば、オペレーターは簡単にエンジン・ルームにアクセスし、オイル・レベルをチェックすることができます。

言うまでもなく、切削機の調節や設定の変更等を含むあらゆる作業を行うための工具一式が標準で用意されています。

水タンクや燃料タンクが大容量タイプなので、補給せずにかかなり長時間の作業を中断すること無く遂行することが可能です。



大型の防音装置付きのエンジン・フードを装着しているため、サービス作業も快適な作業ポジションで行えます。

2100DCの特徴

- 強力なエンジンと機械駆動式の切削ドラムが生み出す強い切削力
- 最高切削深さ300mmで高い生産性を実現
- 強力な切削能力と切削ビットの磨耗を最低限に抑えるために、2段階の切削スピードが設定されています。
- 自動調節が最適の切削作業効率を導き出します。
- 2段構成の前方積み込み式コンベアによって切削された材料を簡単にトラックへ積み込みます。
- 4輪ステアリング方式による高い機動性
- 人間工学を考慮して設計された制御装置類によって、操縦はシンプルなものになっています。
- 容易に開閉する大型カバー、サービス・ポイントへのアクセスが良いため、メンテナンス作業を簡単に行えます。
- 切削ビットの交換が簡単。ユーザーに優しい設計。大容量のタンク類によって利便性が高められています。



簡単なツール交換で、切削機の高い性能が保たれています。



Wirtgen GmbH · Hohner Strasse 2
D-53578 Windhagen · Germany

Phone: +49 (0) 26 45/131-0
Fax: +49 (0) 26 45/131-242
Internet: www.wirtgen.de

ヴァルトゲン ジャパン 株式会社

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町
2-20-6 恒倉ビル3F
TEL.03-5276-5201 FAX.03-5276-5202